

「四国の川を考える会」

令和元年度 定期総会

令和元年 7 月 3 1 日

四国の川を考える会

「四国の川を考える会」令和元年度定期総会

～ 議 事 次 第 ～

1. 開 会

2. 会長挨拶

3. 来賓挨拶

4. 議 事

(1) 平成30年度 事業報告

(2) 平成30年度 決算報告及び監査報告

(3) 令和元年度 事業計画(案)

(4) 令和元年度 予算(案)

(5) 役員の改選 (案)

(6) その他

1) 課題への対応方針 (案)

2) 会員の動向

5. 閉 会

6. 講 演

演題 「楽しくわかりやすい気象実験等コンテンツのご紹介」

気象予報士:(一社)日本気象予報士会サニエエンジニアズ代表 山本由佳 氏

7. 事業紹介

「スマートフォンアプリ”よんでんダムナビ”の紹介」

四国電力(株) 再生可能エネルギー部総括グループリーダー 立川貴重 氏

(1) 平成30年度 事業報告

1) 事業報告

①会 議

・ 運営幹事会

開催日 平成30年4月16日(月)
場 所 建設クリエイトビル 第二会議室
議 題

- 1) 平成30年度 役員会・定期総会の開催日程について
- 2) 平成30年度 事業計画・予算(案)
- 3) 平成30年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・ 役員会

開催日 平成30年5月18日(金)
場 所 建設クリエイトビル 大会議室
議 題

- 1) 平成30年度 役員会・定期総会の開催日程について
- 2) 平成30年度 事業計画・予算(案)
- 3) 平成30年度 助成事業等の審査
- 4) その他(役員改選、会員動向等)

・ 定期総会

開催日 平成30年7月5日(木)
場 所 マリンパレスさぬき「瀬戸の間」
議 題

- 1) 平成29年度 事業・決算報告及び監査報告
- 2) 平成30年度 事業計画(案)及び予算(案)
- 3) 役員改選
- 4) その他

②広報誌、機関紙の発行

・ 広報誌 “あめんぼWEB版”

発 行：平成31年2月14日

平成30年7月豪雨の被害状況・治水施設の効果・肱川緊急治水対策と川のトピックス等を紹介

・ 機関紙 “水紋WEB版”

情報が入りしだい掲載する形にリニューアル。

- ・ 総会報告 (H31/2/14)
- ・ 助成事業の実施状況 (H31/2/14)
- ・ 四国堰堤ダム88箇所巡りの完走認定状況 (H31/2/14)

③平成30年度 広報事業と助成事業

区分	イベント名	河川名	場所	主催者	実施状況
広報事業	第36回ファミリーハゼ釣り大会	吉野川	吉野川河口～名田橋	共催：四国の川を考える会、徳島県釣連盟、徳島市ほか	平成30年10月7日(日) 254名
助成事業	地域の防災力向上	肱川	大洲市(東大洲周辺店舗)	(一社) 肱川流域の環境と治水を考える住民ネットワーク	平成30年11月～平成31年3月 約50名
	交流体験inよしのがわ(上流編)～吉野川上流探検～&水難事故防止講習会	吉野川	早明浦ダム及び汗見川	吉野川交流推進会議	平成30年8月5日 16名
	蛍湖まつり	中筋川	中筋川ダム	蛍湖まつり実行委員会	平成30年10月28日(日) 約1,500名
	みずべ公園(かすみの森公園)の美化活動とVertマルシェ	重信川	重信川かすみの森公園	Vertマルシェ実行委員会	令和元年5月5日 約4,000名

④その他

【報告】四国堰堤ダム88箇所巡り完走認定について

堰堤88箇所巡りの完走認定につきましては、平成24年度の総会で承認されて以来実施しています。

認定状況としましては、平成24年11月に第1号の完走の認定を行った後、昨年の総会時点(平成30年7月)までに72名の方を認定し、その後さらに21名の方を加え、令和元年7月9日現在時点で、のべ93名の方を認定しております。(このうち、三回り目を達成した方が1名、二回り目を達成した方が5名)

(2)平成30年度 決算報告及び監査報告

1)平成30年度 決算報告

自 平成30年6月1日 ～ 至 令和元年5月31日

(省略)

(3) 令和元年度 事業計画 (案)

- ① 広報事業・助成事業を実施する。(次ページの参考資料のとおり)
 - ・ 広報事業として「吉野川ファミリーハゼ釣り大会」を行う
 - ・ 令和元年度助成事業の選定。
- ② ホームページを活用し、広報誌「あめんぼ」の情報発信を行う。
- ③ 機関紙「水紋」をホームページにて公開
- ④ 四国堰堤ダム88箇所巡り完走認定

(4) 令和元年度 予算 (案)

(省略)

令和元年度 助成事業応募状況

	助成事業名(活動名)	新規・ 継続	応募者	実施時期	要望額
①	地域の防災力向上	継続	(一社)肱川流域の環境 と治水を考える住民ネット ワーク	R元.10月	100,000
②	四万十川ケミカルゴミ・ゼロ作 戦	新規 [継続]	四万十川流域住民ネット ワーク	R元.7月31日～9月 30日	100,000
③	みずべ公園の美化活動とVert マルシェ	継続	Vertマルシェ実行委員 会	R2.5月上旬	100,000
④	重信川かすみの森公園のかわ まちづくり活動とスラックライン ジュニアカップ	新規	日本スラックライン連盟 愛媛県支部	R元.11月上旬	100,000
⑤	ダンス・カヌーで川に親しむ	新規	徳島の川に親しむダン スの会(仮称)	R元.8月上旬	100,000
	合計				500,000

令和元年度「四国の川を考える会」広報事業と助成事業(案)

(参考資料)

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定数	開催日	
広報事業	第37回ファミリーハゼ釣り大会 (継続)	共催：徳島県釣連盟、四国の川を考える会	吉野川	自然に親しみ、水に触れ、川に親しみ、関心を持っていただき、みんなで考え、川をいつまでも美しく守っていく心を持ってもらおう。	一般の部 女性・少年の部 ファミリーの部	名田橋～吉野川河口一帯	約300人～600人	令和元年10月	
助成事業	①地域の防災力向上 (継続)	(一社) 肱川流域の環境と治水を考える住民ネットワーク	肱川	肱川流域での平成30年7月豪雨による被災を教訓に、魅力ある地域として肱川流域の更なる発展を目指すためには、住民一人ひとりが、地域の防災力向上を図っていく必要がある。このため、肱川流域住民の防災意識の高揚、流域の住民同士がお互いに理解し、教え合い、助け合うネットワーク強化を目指すとともに、将来の肱川を担う子どもたちに継承していく。	今回の肱川流域の被災を教訓に、地域の人々が生活する中で目にする場所(店舗や施設など)に今回・過去の被災水深がわかる標示板(ステッカー)の貼付、地域が独自に作成した水害の記録(DVD)の視聴・上映や被災・復旧・復興状況のパネルなどを設置して、今後の防災の取り組みのひとつとして実施するとともに、今後行政などとの連携も実施する。また、7月豪雨災害から1年が経過する7月7日に、その記憶を忘れることなくこれから迎える出水期において肱川流域の生命・財産を守るために、今一度、住民・企業・行政が共に考え、如何なることをすべきかを地域住民と一体となって発信すべく復興イベントを開催する。	大洲市内	300人	令和元年6月～令和2年3月	

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定数 人	開催日	
助 成 事 業	②「四万十川ケミカルゴミ・ゼロ作戦」 (新規)	四万十川流域住民ネットワーク	四万十川	河口の海苔、うなぎ、ゴリ等の不漁や風景写真の背景の不評を何とかできるのではないかと議論を踏まえ、見た目にも美しくなく、また水溶しないケミカルゴミは自然の生態系にも悪影響が考えられるため、水際での退治清掃を行うことにより四万十川の「景観」と「生態系」の保全を行います。その際には青少年の参加を募ることで、次世代までの教育的効果(循環)を目指します。	岸辺=水際に流れ着いたゴミ、特に水溶しないケミカルゴミを清掃するもので、小回りのきくカヤックカヌーで収集し、後方に控えるカナディアンカヌーで集積して川を下っていきます。 (これまでの実績) 例年「発砲スチロール」「ビニール」「タイヤなどの車の一部」「電化製品の一部」等が集まります。ひどい時は[自転車][墓石][トイレ部材]等があり、継続して清掃する必要性を感じています。	四万十川の河口から入田まで(旧中村市街地を流れる箇所)の直轄部分3km区間	約30人	令和元年7月31日～9月30日	
	③みずべ公園(かすみの森公園)の美化活動とVertマルシェ (継続)	Vertマルシェ実行委員会	重信川	松山市内を流れる重信川には、湧水泉やかすみ堤のほか、河川敷公園には自然豊かで多くの人が集まれる場所があります。東温市にある重信川「かすみの森公園」は、自然があふれ、快適な河川空間を活用した雰囲気の良い公園ですが、利用する人が少ないのが現状です。重信川の魅力をもっと多くの人に知っていただきたい思いから、今回の自然とのふれあい活動として、快適な空間と人とのコミュニケーションを大切に活動しているVertのメンバーが中心となり一般参加者を募り、かすみの森公園での河川清掃や河川環境を保全することの大切さを学ぶ場を設けることで、かすみの森公園や重信川のファンをふやすとともに、普段河川にふれあう機会の少ない多くの方々に河川環境の保全についての理解を深めてもらうことを目的とします。	Vertマルシェのメンバーと一般参加者の約300名で、重信川の「かすみの森公園」を中心に、河川敷公園と水辺の清掃活動を行うとともに、環境啓発活動(重信川の魚・植物紹介、国土交通省環境事業紹介など)を行い、河川環境保全の理解を深めます。	重信川かすみの森公園)	約300人	令和2年5月上旬	

区分	イベント名	主催	河川名	目的	内容	開催場所	参加予定数 人	開催日	
助成事業	④重信川かすみの森公園のかわまちづくり活動とスラックラインジュニアカップ (新規)	日本スラックライン連盟愛媛県支部	重信川	平成31年2月に新規登録された重信川かわまちづくりでは、重信川、石手川沿川の東温市など4市町で、「自然と人、人と人との出あいの場、重信川」をコンセプトに、今後、5年間で自転車道整備や、自然体験の場の充実、水辺のオープンカフェの整備が行われることとなりました。東温市では、かわまちづくり計画として、平成31年3月23日に、日本初となるスラックラインパークをオープンしたところです。日本スラックライン連盟愛媛県支部は、国土交通省、東温市のかわまちづくり計画の趣旨に賛同し、スラックラインパークの有効活用を行い、さらなる重信川の魅力を向上させるため、河川空間を活用した地域の観光振興の促進を図ることを目的に活動します。	日本スラックライン連盟四国支部と一般参加者の約100名で、重信川かわまちづくりスポット「かすみの森公園」の有効活用として、スラックラインジュニアカップ（小学生以下のスラックラインの大会）を行い、重信川とふれあい魅力を発信するとともに、国土交通省かわまちづくりの事業紹介などを行い、河川環境保全の理解を深めます。	重信川かすみの森公園	約100人	令和元年11月上旬	
	⑤ダンス・カヌーで川に親しむ (仮称) (新規)	徳島の川に親しむダンスの会(仮称)	鮎喰川	文化を育み自然と共存していこうとする子どもたちの姿が見られなくなっている現在、「川」や「自然」と触れ合いながら「ダンス・カヌー体験・レクリエーション」を通じて未来を生きる子どもたちに「川」の文化や「川」との付き合い方を教える	1日目は、鮎喰川の水辺で、地元の子どもたちや保護者、また県内のダンスグループと共に、ダンスで心と身体を解放し、信頼する仲間とカヌーを体験して「川」での遊びの楽しさを実感してもらう。 2日目は、てくてく栗生野の施設で「川」に纏わるお話しやダンス、レクリエーションを行い、その後は下の水辺で水遊び(竹で水鉄砲を制作して水鉄砲合戦)を体験する。このように、川の魅力を発信しながら、住民の皆様とこれからの川との付き合いについて考えていただけるきっかけとしていきたい。	1日目：鮎喰川(神山町阿野齒ノ辻/「タカガワ東ゴルフ倶楽部」付近の水辺) 2日目：鮎喰川(神山町下分栗生野/「てくてく栗生野」付近の水辺)	約100人	令和元年8月上旬	

(5) 令和元年度 役員の変更 (案)

[役員]

役職	役員名	住所 [電話]	改 非	新
会長	鈴木 幸一			
副会長	三谷 健			
	武藤 裕則			
顧問	三井 宏			
	(一社)四国クリエイト協会 顧問 福田 昌史			
	(一社)四国クリエイト協会 理事長 工藤 建夫			
	井下 俊作			
理事	田村 典子			
	菊池 弘美			
	公文 洽夫			
	大谷 博信			
	(一社)四国クリエイト協会 専務理事 藤山 究			

	四国治水期成同盟連合会 幹事長 谷川 剛			
	四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 立川 貴重			
	(財)河川情報センター 高松センター所長 近藤 秀樹			
監事	香川県河川協会 事務局 末澤 良幸			
	電源開発(株)西日本支店 支店長代理 新村 祐二			

[運営幹事]

運営幹事名	住 所	[電 話]	新
四国電力(株)再生可能エネルギー部 総括グループリーダー 立川 貴重			
電源開発(株)西日本支店 支店長代理 新村 祐二			
公文 洽夫			
(株)東京建設コンサルタント四国支社 支社長 五藤 隆彦			
香川県土木部 河川砂防課長 稲田 健治			
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 清水 宰			

[参 与]

参 与 名	住 所 [電 話]	新
徳島県県土整備部 河川整備課長 赤堀 良信		
香川県土木部 河川砂防課長 稲田 健治		
愛媛県土木部 河川課長 野間 俊男		
高知県土木部 河川課長 汲田 信幸		
四国地方整備局河川部 河川情報管理官 清水 宰		

(6) その他

1) 課題への対応方針(案)
(省略)

2) 会員の動向

(平成30年総会時点)

一般会員	121名
特別会員	76名
計	197名

(令和元年度総会時点予定)

131名
76名
207名